授業科目	子どもと人間関係					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	池田　佐輪子						
授業概要	領域「人間関係」の指導の基盤となる、乳幼児が人と関わる力の育ちについての専門的な知識を深める。乳幼児の人間関係を取り巻く現代的な課題についても理解する。園生活においての集団作りやグループ活動、トラブルになりやすい問題行動について実践事例を参照しながら保育者の適切な関わり方について理解する。						
授業形態	講義			授業方法	・教員による講義を行う。 ・適宜グループワークやディスカッションを行う。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 乳児期の人と関わる力の発達について、身近な大人との関係から説明できる。 2. 乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会背景を理解し、人間関係を築く力の発達的意義について理解している。 3. 幼児期の人間関係の発達について、園生活における保育者との関係、子ども同士の関係、集団の育ちなど子どもの姿と合わせて理解している。 4. 自立心や協同性の育ち、道徳性・規範意識の芽生えについて、発達の姿と合わせて説明できる。 5. 家族や地域との関わりについて、発達の姿と合わせて説明できる。 6. 人間関係を築くために必要な基本的なスキルについて理解している。 以上 6 項目について、基本的な事項を理解しており、子どもの発達の姿と合わせて人間関係を築くために必要な基本的スキルについて理解している。
理想的レベル	標準的なレベルの理解に加え、子どもの発達の状態や気持ちを意識しつつ、学んだことを応用しながら保育現場で実践することに意欲的である。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	60%	最終回に振り返りレポート
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	40%	課題に対する自分の意見
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH11303J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習：授業内容の振り返り	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション・領域「人間関係」について

	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領でとりあげられている「人間関係」について理解する。
第 2 回	人間関係の発達（乳児期から幼児期前期） 子どもの発達段階ごとの心理的発達や自立心の発達について理解し、人間関係のあり方について学ぶ。
第 3 回	人間関係の発達（幼児期前期から幼児期後期） 子どもの発達段階ごとの心理的発達や自立心の発達について理解し、人間関係のあり方について学ぶ。
第 4 回	園生活や遊びの中から生まれる人との関わり 園生活や遊びの体験から育まれる自我、社会性について、事例を用いて学ぶ。
第 5 回	子どもの共感性や道徳・規範意識の発達 共感性の発達を起点に、道徳や規範意識、協同性の発達について理解する。
第 6 回	人との関わりを支える保育者の役割と計画 人と関わる力を育むために必要な保育者の役割を知ると共に、見通しをもった計画的な保育について事例を用いて学ぶ。
第 7 回	子どもの人間関係を取り巻く現代的課題 家庭生活や地域社会の中での子どもの人間関係の発達について理解する。 都市化、家族のあり方の変化とそれに伴う子どもの人間関係の変化と課題について学ぶ。
第 8 回	授業のまとめ 共感性をもって人と関わることや自我の抑制、人間関係についての学びをまとめる。
テキスト	幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領　＜原本＞　チャイルド本社 幼稚園教育要領解説　文部科学省　フレーベル館 保育所保育指針解説　厚生労働省　フレーベル館 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説　フレーベル館
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「保育内容人間関係　子どもと人との関わりと保育実践を学ぶ」藪中征代、近内愛子、玉瀬友美　萌文書林 他、授業の中で適宜紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	課題はその都度内容についてフィードバックしていきます。
学生へのメッセー	「保育の心理学」や「子どもと言葉」において、子どもたちの認知的発達や言語習得などについて学習しておくことが望ましい。

ジ・コメント	子どもたちの人間関係について学ぶためには、知識の修得だけではなく、実際に子どもたちの行動を観察して人間関係のあり方を理解する力を身につけることが必要です。日頃から、自分が体験する人間関係について、立ち止まって考えてみると、授業内容の理解に役に立つと思います。